

## メルボルン王立工科大学とのGPBL(メルボルンにて)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年02月23日 ～2019年03月07日	オーストラリア	ロイヤルメルボルン工科大学	・機械機能工学科、機械工学科、機械工学専攻 ・学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生9名、TA2名、教員2名 (ロイヤルメルボルン工科大学) TA4名、教員2名	小野 直樹(機械機能工学科)、斎藤 寛泰(機械機能工学科)



図1 施設見学

ロイヤルメルボルン工科大学(Royal Melbourne Institute of Technology, RMITと略)の機械系学科のアクバル教授、ダテ准教授にお世話になり、与えられた技術課題に対する解決案の提案を行うグループ討議型のプロジェクトを実施した。人口100人の電気や飲み水もない地域の住民に対するインフラ技術の提案や、飲み水が枯渇している人口100万人の市における汚染水の再生技術の提案がテーマであった。SITから2名のTAが加わり、RMITからは博士課程の学生4名がメンター(TA)としてグループ討議に加わった。合わせてアクバル先生、ダテ先生および博士課程の学生の研究活動のレクチャーも受けた。また近郊の有機野菜栽培やバイオ燃料を扱う実験農園も訪問し知見を深めた。参加学生は3班に分かれて討議し、中間発表と最終発表を英語で行い、内容的にとっても充実したgPBLであった。



図2 中間発表



図3 中間発表打ち上げ



図4 集合写真(日本人全員)



図5 全体写真



図6 最終プレゼン



図7 活動風景